

福田寺だより

発行

飯田山 福田寺

住職 橋本尚信

神奈川県小田原市飯田岡二五七
電話 0465(36)2755

真言宗総本山教王護国寺(東寺) 長者(住職)が就任

福田寺住職は令和六年七月二十一日付けで、真言宗総本山教王護国寺(東寺)の長者に就任致しました。

長者とは東寺の住職のことです。弘法大師が第一世で福田寺住職橋本尚信は第二百五十八世になります。東寺は桓武天皇が平安遷都との砌、都の正門羅城門の東側に国家鎮護のため都を守るために建立したもので、弘法大師空海に造営を託しました。大師は東寺を密教の根本道場となし、鎮護国家広渡衆生の祈願道場として日本を代表する仏教寺院に発展させました。爾来一千二百年に亘り、国を治めた公武の統領はもとより、庶民に至るまで全ての人々から尊崇をいただ、今日まで創建当時その

ままに京都のシンボルとして聳え立っています。

晋山式は十月二十五日、総本山東寺の金堂(本堂)において、真言宗各山山主・御重役らが見守る中、本尊薬師如来御宝前に晋山奉告文を奉読し厳修致しました。晋山式の様子は報道誌を本堂に置いておきますのでご覧下さい

東寺長者になることは大変名誉なことではありますが、同時に仏教界においてその責めは非常に重大なことでもあります。住職ですので東寺に在住するのが基本となります。住まいは東寺の境内にある塔頭(たっちゅう＝子院)を住居とし、昼間は本坊の長者部屋で職務を執行して過ごします

自坊福田寺は、副住職・真央がほとんどの職務を執行しています。不慣れな部分もありますのでどうぞご寛恕のほどよろしくお願い致します。

年間の行事は例年通り執行する予定です。変更がある場合はその都度何らかの方法でお知らせ致しますが、本堂前の掲示板もこまめに確認頂きますようお願い致します。

住職が東寺長者に就任したことにより、福田寺の状況、環境が随分と変化致しましたが、お寺の仕事は今までと全く変わらずに遂行していきますので檀信徒の皆様におかれましては、今まで通り気軽にご相談下さいますようお願い申し上げます。

写経会再開

一時中断していましたが
写経会を再開致します。

令和7年2月より
第二月曜日10時より

ふるってご参加下さい。

私のいのちはどこまでも続く 死んだ後のことは知らないでは済まない

住職は今年七十六歳になりました。団塊世代で、人口が最も多いのと同じ思いの人はたくさんいると思います。

最近まで、この歳になると、中長期的未来の事は、どうせ自分はこの世にいないのだからあれこれ心配する必要は無い、と高をくくっていました。例えば首都圏直下型地震が30年以内に起こるといっても、その時は自分はこの世に居ないだろう、とか、リニア新幹線建設がなかなか進まなくても、どの道自分が居なくなつてからのことだ、とか、直近以外の事にはあまり関心を示さない自分を容認していました。

しかし、お大師様の教えを知れば知るほど、また最近では中村桂子さんの生命誌の考え方を知ると、そんな利那主義的、退廃的考えをしていた自分が惨めに思え自責の念に陥る

ように感じております。

お大師様の教えは「即身成仏」に説かれているように、私達のいのちは過去から未来へつながっていると同時に現在の全ての横のいのちともつながっていて、同じいのちであると説かれています。中村桂子さんは生命誌の考え方の中で、人間は現在地球上に生存する全ての動植物と同じで、人間という一種の動物であり、一段高い所にいる訳ではない、といっています。全くその通りで、私達人間は他の動植物より一段高い存在であると見誤っていることを指摘しています。

私のいのちは、死を迎えることにより肉体的には存在しなくなつても、いのちそのものは、過去から未来へと繋がっていて、この世に存在する横のいのちとも繋がったままであるのです。

そのように考えたとき、中長期的未来も自分と繋がっていて決して人ごとでは無いということになります。先の首都圏直下型地震もリニア新幹線建設も子供や孫達は直面するかも知れません。子供や孫に限らず未来の全てのいのちは自分のいのちであると考えたととても人ごとと高をくくってはられません。

私達のいのちはこの身このままで仏のいのちそのものでありますので、決していのちは死なないのです。



住職のひとりごと

今年はお正月から能登半島の地震に始まり、相変わらず自然災害の多い年だったな。人的災害も相変わらずでウクライナ戦争は収まらず、パレスチナでも戦闘状態、直近ではシリアで混乱状態。自然災害か人的災害は別として地球温暖化による災害も深刻だ。

さてさて日本はというと、与党が少数となり国会がバタバタしている。

懸念材料山積の中、宗教者として何をすればよいのだろう。先ずは人々の幸せな生活を念ずる事だが、念ずることで上手くいけばこんなにも有り難いことは無い。

そもそも、不幸せの原因は何なのか今全ての国民は目先のことに振り回されているのではないか。タピオとかコスパを良しとする風潮は如何なものであろうか。何か日本人に忘れ去られた、日本人が培ってきた日本人ならではの、思

考・暮らしぶりをよみがえらせる時期がきているように思うのは私だけだろうか

永代供養墓建立 来春着工予定

近年後継者不在のご家庭が増え、墓地や納骨堂の管理者が居ない家庭が増えています。また何らかの事情により、後継者を指定出来ない方も多くおられます。そのような方は、永代供養として、後々の管理が不要な埋葬形態を要望するようになり、多くのご寺院がそのような供養墓を用意されるようになりました。福田寺の檀信徒の中にも後継者が無く、不安をもたれている方も増えてきました。そのような方の為に、福田寺も永代供養墓の必要性に迫られてまいりました。数年前より計画を進めてきましたが、いよいよ他に類を見ない、未来永劫に亘り供養形態が続けられる素晴らしい供養

墓の構想が整いました。書院建設が来春二月には完成予定ですので、終わり次第永代供養墓の着工準備にかかりたいと思っています。勿論、檀信徒に限らず、永代供養墓を検討している方がおられましたら福田寺の供養墓も選択肢の一つに加えるよう勧めてあげて下さい。

「永代供養」という言葉が独り歩きしている感がありますが、本来永代供養とは、施主が故人を鄭重に敬い未来永劫に亘って、菩提寺に供養をお願いすることで、一般の人はなかなか申し込めない、供養としては最高級の供養方法でありました。今は、供養する人がいないのでお寺に任せっぱなしの意味で使われていますが、これもお寺を取り巻く社会環境の変化の一つで致し方ない事かともおもいます。そういう意味では、何らかの形で供養したいと思う気持ちを受け継がれていることは大切な事のように思います。

護摩供養会



(申込み受付中)

恒例の新年厄除け護摩を二月八日の午後三時より修行致します。令和七年度は、昨年と同様感染予防に配慮しながら、檀信徒の皆様にはご参詣頂ける形での実施を予定致しておりますので、どうぞ多くの方のお申込み並びにご参加をお待ちしております。

祈祷料…三千元

祈祷内容…厄難消除(厄除け)、
身体健全、病魔退散、家内安全、
交通安全、商売繁盛、業運繁栄、
学業成就、合格祈願、安産祈願、
子授け祈願、その他

申込み…一月末日まで、電話可

電話 0465(36)2755

FAX 0465(37)6688

令和七年度厄年

男性(大厄)

前厄 昭和六十年生まれ

本厄 昭和五十九年生まれ

後厄 昭和五十八年生まれ

(厄) 平成十三年

昭和四十年 生まれ

女性(大厄)

前厄 平成六年生まれ

本厄 平成五年生まれ

後厄 平成四年生まれ

(厄) 平成十九年

昭和六十四年 生まれ

仏教相談

～ 誰でも気軽にどうぞ ～

勿論檀家さん以外の方でも仏事
に関して、どうしたらよいのか？
どんな些細なことでもご相談下さい

電話 0465(36)2755

住職携帯 09030450064

元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より1時まで、副住職により新年のご祈祷が修法されます。ご自由に参拝ください。

暮れのお参り



通常通りお参り下さい。但し出来るだけ密を避けるため日にちに余裕をもってお参り下さい。

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めて下さい。特に大きなものや、燃えないものは連絡ください。

年回のお知らせ

来年度の年忌(年回)法要の張り紙を本堂に掲げておきますので暮れのお参りのときに自分の家の年忌を確認して下さい。

年忌に相当している場合、法要の日取りを早めに連絡して下さい。